

# 福島教区報

教会数 98ヶ所  
 布教所数 87ヶ所  
 (R18.8月現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号  
 TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404



## 全教「斉心をいがけデー」

身近な人へ御教えを伝えよう

「立教185年全教一斉にをい  
 がけデー」が、9月28日〜30  
 日の3日間を「ようぼく実動  
 日」として実施された。今年  
 も8月には新型コロナウイルス  
 ス感染者数が過去最大を記録  
 するなど、以前のようなにを  
 いがけ活動が難しい状況の  
 中、提唱90年の節目を迎え、  
 それぞれの支部で工夫をし、  
 感染拡大防止策を講じながら  
 の活動が行われた。  
 福島支部（樗秀教支部長）  
 では、28日午前、教務支庁で

「にをいがけドリル研修会」を  
 開催。牛坂直之氏（松川分教  
 会長）を講師に、チラシの読  
 み合わせやロールプレイなど  
 を通してにをいがけのやり方  
 を確認した。午後からは、教  
 務支庁周辺でフリップを持つ  
 て行き交う人に教えの一端  
 を発信したりリーフレットを  
 配ったりなどした。

29日は渡利地区、30日は南  
 向台団地と場所を変えて、戸  
 別訪問やリーフレット配布、  
 路傍講演などを行った。

耶麻支部（近藤直光支部長）  
 でも、28日に猪苗代分教会で  
 「にをいがけドリル研修会」を  
 斎藤元康氏（猪苗代分教会教  
 人）を講師に開催。その後、  
 教会周辺で神名流し、戸別訪  
 問をした。29日は喜多方地域、  
 30日は坂下地域でウォーミン  
 グアップの後、神名流し、戸  
 別訪問を行った。

# 少年会

## 「少年ひのきしん隊本部練成会」に7名参加

少年会福島教区団（近藤直光 団長）は、7月30日から31日、福島教区は1次隊（17教区・団）に参加し、山形（愛知教区と合同班となり、行動を共にした。）

「少年ひのきしん隊本部練成会」に7名（男子1名、女子3名、カウンセラー3名）で入隊した。

コロナ禍のため、一昨年、昨年と開催が見送られていたが、「少年ひのきしん隊支部結成」が打ち出されて50年の節目となる今年、隊期を1泊2日に、参加教区

を4次隊に分けるなど、感染拡大防止策をとっての開催となった。

第38母屋での入隊式の後、それぞれの班に分かれてウォーミングアップを行い、班別タイムで掲示物や旗を作るなどした。その後、神殿へ移動し、親神様、教祖、祖霊様を参拝、記念建物も見学した。続いて、「夏休みこどもひのきしん」のお楽しみ行事の一つ、「おやさと謎解きウォーク」を参考館」に参加したり、「みちの子作品展」を見学したりした。



夕方から夜にかけて、再び班別タイムとなり、色紙を使ってちぎり絵に取り組んだ。

翌日は、本部神殿でおつとめをつとめた後、班ごとにひのきしん現場に向かった。福島教区の班は、おやさとやかた東棟周辺の除草を行った。その後、班別タイム、宿舍清掃を行い、昼前には解隊となった。



以前に比べ、隊期も短く、ひのきしんも限られているが「人のため つくすよろこび ひろげよう」の合言葉を心がけた2日間となった。



### 布教部

## 「フアシリテーター研修会」に10名参加

布教部（生江一行部長）では、7月1日、福島教務支庁で「フアシリテーター研修会」を開催した。午前中はまず、向正訓先生（本部布教部二課研究員）がフアシリテーターをつとめ、「十全の守護」のプログラムを体験受講した。その後、向先生を講師に「フアシリテーター」その役割と心得についてお話をいただいた。

この研修会は昨年度に予定されていたが、コロナ禍により延期されていたもの。「フアシリテーター」とは、昨年度から始まった「みおしえ学習



午後は、「八つのほこり」のプログラムに則って、受講者それぞれがフアシリテーターとなって、それぞれがプログラムの一部を行い、向先生から様々なアドバイスをいただいた。最後に質疑応答があり、研修会で十分に理解できなかったことや不安に思うこと、実際に「みおしえ学習会」を行うにあたってどうしたらいいのかなどの点を教えていただいた。

今後、各支部で「みおしえ学習会」を順次開催していく予定となっている。

(K・N)

### 道友社

## 「社友研修会」開催

道友社（関本啓代表社友）では、7月3日、福島教務支庁で「社友研修会」を開催し、新任の支

部社友をはじめ4名が参加した。

まず、関本代表社友が、社友の心得、役割等について説明した後、『天理時報』や「天理教ホームページ」の「地方ニュース」に掲載する計報や情報提供の送稿の練習をした。



### 青年会

## 「青年会ひのきしん隊」に3名入隊

福島教区青年会（牛坂直之委員長）では、

7月11日、12日

と「青年会ひのきしん隊」

に磐城平分会と合同で入隊し、教区からは3名が参加した。

11日朝、おちばに到着し、百母屋で隊服に着替え、朝礼に臨んだ。

11日は旧本芝詰所の解体



りした。

12日は、時折雨の降る中、15母屋前で、いろは教室で不要になったテーブルの

解体ひのきしんを行った。テーブルの脚や金具を一つ一つ取り外し、分別してま

とめた。(N・U)



### 災救隊

## 「教区訓練」に20名参加

災害救援ひのきしん隊福島教区隊（荒井弘徳隊長）では、8

月4日、5日、利光誠治副

本部長をお迎えし、今年度の教区訓練を開催、20名が

参加した。当初、4日に野営の訓練

もする予定だったが、天候不良とコロナ感染の拡大に

よって、4日は教務支庁前



の整備と翌日の物品等の準備を行った。

5日は、二本松市営あだ

たら高原野営場へ移動し、

現地集合の人と合流して9時に結隊式を行った。その後、作業を開始。3日から

4日にかけて降った雨の影響で足元が柔らかいところ

もあがるなど、安全第一を心がけての作業となった。(H・A)



道の教職員の集い

「総会」「成人塾」を開催

福島教区道の などが説明された。 また8月22日には「成人

教職員の集い (齊藤元康代表 世話人)では、 児童生徒6名が参加した。

7月2日、今年度の「総会」を福島教務支庁で開催、4名が参加した。

まず、昨年度の活動報告や決算、今年度の活動計画や予算等を審議した。そして、今年度から本部布教部の管轄から外れて、独自の組織として活動していくこ



道の教職員の集い

「教区フォーラム」を開催

福島教区道の まる」の活動内容の説明があり、「こども食堂」を立

教職員の集い (齊藤元康代表 世話人)では、 体的な手続き、行政や社会

9月2日、福島教務支庁で「こども食堂」をテーマに「教育フォーラム」を開催し、テーマに関心のある方15名が参加した。

まず、昨年11月に猪苗代分教会を会場に立ち上げた「いなわしろ地域食堂ま



指導を受けながら作文を完成させた児童の保護者からは、「親がなかなか指導できない部分を付きっ切りで教えていただきありがとうございました」との感想を頂戴した。 状況を見ながらであるが、冬休みの開催も検討している。 (M・S)

「こども食堂を始めるとは難しくなく、こども食堂でたすかる人がいるので、まずはこども食堂を始めたい」と述べた。 質疑応答では、参加者から多くの質問が出て、関心の高さが伺えた。また、アンケートからは、「細かい点もわかりやすく話してもらい運営についてイメージできた」など好意的な意見を頂戴した。 (M・S)



**基礎講座**

9月4日、「天理教基礎講座」(福島支部会場)が福島テルサで開催され、初めての方3名を含む5名が受講しました。

ビデオや杉澤元和講師の講話を通して、天理教の教えが初めての方にも分かりやすく紹介されました。

参加者からは、「親が信

**福島支部会場に5名参加**

仰していました。家庭の事情で離れました。最近になり天理教のことが気になり、常に教区のホームページを見ています。コロナ禍でなかなか参加できずにはいりましたが、やっと来ることが出来ました。」との声も聞かれました。

SNSでの発信も重要だと感じました。(K・K)

**天理教基礎講座 (福島会場)**

【日時】 11月13日(日) 13時30分～

【会場】 郡山青少年会館(郡山市)

【講師】 生江一行先生

【日時】 11月20日(日) 13時30分～

【会場】 アピオスペース(会津若松市)

【講師】 平澤勇一先生

9月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、33名が参加した。台風接近の影響か暑さ厳しい中、植木剪定や除草にと心地よい汗を流した。コロナ感染防止のため午前中で作業は終了となった。

**教区総出ひのきしん**



第30回  
**女子青年大会**

立教185年 2022年 **11月27日** 日  
式典 ▶ 午前10時 本部中庭

支部のついで 別席

教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を  
～感謝の心をおちばにつなごう～

天理教婦人会

**福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!**

[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)